

令和2年度事業報告について

I 令和2年度事業報告

第1 事業推進の基本方針

本道の酪農畜産は、広大な自給飼料基盤を背景に、生産者をはじめ関係者による不断の努力により、厳しい気象条件を克服しつつ今日まで発展し、地域の経済や雇用、更にはコミュニティーを支える重要な基幹産業として大きな役割を果たしている。

しかし、新型コロナウイルス感染症は昨年引き続き世界的に拡大し、人々の暮らしや社会経済に大きな影響を及ぼしており、酪農畜産分野においても畜産物需要や価格に大きな影響を与えている。

このような中、本協会では、畜産クラスター事業や生産基盤拡大加速化事業、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の肥育生産支援事業や計画出荷支援事業を実施し、収益性の向上や生産基盤の維持・強化を図る取組みを支援するとともに、経営診断に基づく改善指導や牛マルキン事業等の経営の安定を図る事業、家畜の登録改良等の生産振興を図る事業について、関係機関・団体と連携を図りながら効果的に実施した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助 29,421 千円）

畜産の担い手育成・確保に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 強い農業づくり事業：畜産生産基盤育成強化（北海道・北海道農業公社/補助他 4,315 千円）

新たな畜産の担い手や地域の中核となる畜産経営を支援するため、経営診断結果を基に経営改善や生産技術指導と経営管理等総合的な支援を行った。

経営診断・分析支援 24 件

(3) 畜産経営診断指導事業（農協・生産者/781 千円）

畜産経営の各種分析を行い、経営改善のための助言及び指導を行った。

助言指導 10 件

(4) 畜産特別資金推進指導事業（中央畜産会/補助 28,856 千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、本協会が独自に開発した酪農経営支援システム等を活用し、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導を実施した。また、融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

① 都道府県支援協議会の開催

- ・ 協議会活動の企画・調整等 7 回
- ・ 経営事例調査 57 件
- ② 融資機関への指導・助言
 - ・ 研修会等 5 回 (札幌市、稚内市、帯広市、釧路市、中標津町)
- ③ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導
 - ・ 計画作成指導等 100 件
 - ・ 濃密指導 (月次モニタリング) 6 農協・14 件
 - ・ 酪農経営支援システム活用状況 21 農協・分析 934 件

(5) 畜産関係団体調整機能強化事業：相談窓口 (中央畜産会/委託 1,090 千円)

資金管理、飼養管理上の課題を抱える酪農・畜産経営に対し、現地において助言・指導等を行った。

助言指導 6 件

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛生産基盤振興

(北海道・ホクレン農協連・ジェネティクス北海道/補助他 28,766 千円)

北海道和牛の産地ブランド確立のため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となり、優良繁殖雌牛の選抜・保留や次世代種雄牛の造成、道内肥育の推進など、北海道和牛の生産基盤強化を図る取組みに対し支援を行った。

① 道産種雄牛を活用した和牛生産基盤強化対策

- ・ ゲノム育種価評価 428 頭 36 集団 11,250 円/頭
- ・ 現地検討会 3 回

② 育種改良組織等の活動強化

- ・ ゲノム育種価評価 118 頭 2 集団 11,250 円/頭
- ・ 現地検討会 2 回

③ 高能力繁殖雌牛活用推進 187 頭 15,000 円/頭

④ 新規種雄牛早期市場評価推進対策 34 頭 30,000 円/頭

⑤ 道内肥育推進対策

- ・ 道内出荷仕向け導入奨励 60 頭 50,000 円/頭
- ・ 道内出荷仕向け増頭奨励 77 頭 120,000 円/頭
- ・ 道内と畜増頭奨励 70 頭 50,000 円/頭

⑥ 早期肥育出荷技術モデル実証 16 頭 150,000 円/頭

⑦ 枝肉改良共同研究

- ・ 枝肉横断面における脂肪交雑形状の指標評価・活用法の開発 帯広畜産大学
- ・ 黒毛和種肥育牛の早期出荷に適した育種価評価法と育成・肥育技術 畜産試験場

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 122,391 千円）

① 肉用牛生産基盤強化対策

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取組みに対し支援を行った。

- ・繁殖雌牛の増頭に対する助成

育種価等要件達成 756 頭 80 千円・100 千円/頭

- ・肉用牛ヘルパー活動に対する助成（1/2 以内） 10 利用組合

- ・簡易牛舎の整備に対する助成（1/2 以内） 9 団体

② 地域の特色ある肉用牛振興対策

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取組みに対し支援を行った。

- ・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する助成 63 頭 21,000 円/頭

- ・離島子牛の島外家畜市場出荷に対する助成 76 頭 4,600 円・6,300 円/頭

- ・日本短角種経営の自給飼料生産資材等に対する助成 1 生産者集団

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：生産基盤拡大加速化

（全国肉用牛振興基金協会/委託 4,342 千円）

畜産クラスター計画に基づき、優良な和牛繁殖雌牛を増頭した生産者に対して奨励金を交付する事業の推進業務を行った。

取組主体 65 農協等 補助金額 520,522 千円

(4) 肉用牛経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構/補助 28,103 千円）

令和2年12月から令和3年3月までの大雪災害に係る被災畜産関連施設の補改修や停電時に家畜の生命維持に必要な機械を稼働させるための非常用電源の整備について支援を行った。

大雪被害による施設の補改修 4 団体・8 経営体

非常用電源の整備 16 団体

(5) 畜産・酪農生産力強化対策事業：A I ・ E T（中央酪農会議/委託 11,000 千円）

和子牛の生産拡大と優良な乳用種後継牛の確保により、畜産・酪農生産基盤を強化する事業の推進業務を行った。

事務取扱 91 農協 補助金額 857,208 千円

(6) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における分娩間隔の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

① 肉牛改良推進のための研修会等の開催

- ・和牛技術研修会 1 回（巡回指導）

② 家畜生体肉質装置を用いた肉質診断の技術向上 2 回

③ 家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等 13 回

- ④ 他団体主催各種調査立会
 - ・全国和牛登録協会 産肉能力検定(直接検定 開始・終了) 2回
 - ・家畜改良事業団 種雄牛枝肉調査(現場後代検定 前期・後期) 9回
 - ・ジェネティクス北海道 種雄牛産子調査(現場後代検定) 2回
- ⑤ 和牛経営定点調査 18戸
- ⑥ 和牛育種事業強化支援対策
 - ・びらとり和牛育種組合 ・十勝和牛育種推進部会
- ⑦ 第12回全国和牛能力共進会の取り組み
 - ・肉牛の部 選抜巡回の実施 1回
 - ・種牛の部 候補牛リストの配布 2回
- ⑧ 協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 21,198件 (アクセス件数)

(7) 道産牛肉生産強化事業 (北海道/補助 366 千円)

和牛生産の担い手や地域のリーダーの育成を目的として、飼養技術や審査技術に関する研修会を実施した。

研修会開催 1回 (豊頃町)

(8) 強い農業づくり事業：めん羊振興 (北海道/補助 100 千円)

優良な系統の普及啓発を推進するとともに、めん羊の飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、研修会を開催した。

研修会開催 1回 (札幌市 WEBセミナー)

(9) めん羊登録改良事業 (生産者/1,916 千円)

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

[登録・証明件数] (単位：件・%)

区 分	登 録		証 明
	血 統	予 備	出 生
件 数	617	148	1,787
前年度対比	112.8	100.0	90.8

(10) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

① 北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖、生産基盤の充実と経営安定に資する各種の活動を行った。

② 北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取組みを行った。

③ 北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

④ 北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。また、デジタルサイネージ等新たな広告媒体を活用して道産牛肉のPRに努めた。

⑤ 北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取組みを行った。

⑥ 北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の生産振興に資する取組みを行った。

⑦ 北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取組みを行った。

⑧ 北海道指定種豚場協議会

道内で種豚を生産する個人等で構成され、優良種豚の確保・改良を促進し、養豚の生産振興に資する取組みを行った。

⑨ 北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取組みを行った。

⑩ 北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術情報冊子作成などの取組みを行った。

⑪ 北海道地方公営競馬振興協議会

地方競馬主催者と連携を取りながら、地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

⑫ 北海道自給飼料改善協議会

自給飼料の確保に向けた啓発活動やその基盤の改善・向上のための研修会の開催を検討した。

⑬ 第13回全国和牛能力共進会北海道誘致推進協議会

令和9年に開催予定の、和牛のオリンピックと称される第13回全国和牛能力共進会を北海道に誘致するための各種活動を行った。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定を図るため、次の事業を行った。

肉用牛肥育経営安定交付金：牛マルキン（農畜産業振興機構/委託他 105,313 千円）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済対策により、令和2年4月以降、肥育牛契約生産者の負担金納付が猶予され、猶予となった牛の補填は機構からの交付金のみとなった。

また、肉専用種については、令和2年5月販売分以降、積立金が払底（基金不足）したことにより、補填は機構からの交付金のみとなった。

(1) 積立金造成及び交付金交付状況

① 生産者負担金単価 (単位：円)

品種区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
肉専用種	16,000	16,000	71,000
交雑種	17,000	17,000	20,000
乳用種	19,000	19,000	19,000

② 交付金単価〔令和2年4月～令和3年3月販売分〕 (単位：円)

品種区分	販売年月 (交付は販売の翌々月)					
	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
肉専用種	320,755	※217,974	※203,110	※153,276	※152,447	※134,705
交雑種	148,130	146,220	190,413	180,387	153,076	163,894
乳用種	52,145	46,925	48,078	39,031	51,616	39,206

品種区分	販売年月 (交付は販売の翌々月)					
	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
肉専用種	※77,033	※29,851	※3,942	※31,718	※46,597	※2,389
交雑種	131,468	79,365	29,124	22,759	82,541	26,658
乳用種	37,969	38,144	38,791	43,453	48,483	54,922

※ 機構からの交付金のみ 3/4 の単価

③ 交付金交付実績 (単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	交付金額		計
		負担金	交付金	
肉専用種	31,272	1,164,659,358	3,493,975,617	4,658,634,975
交雑種	47,596	1,378,175,820	4,134,525,694	5,512,701,514
乳用種	113,522	1,156,047,358	3,468,139,922	4,624,187,280
合計	192,390	3,698,882,536	11,096,641,233	14,795,523,769

④ 基金管理実績

(単位：円)

品種区分	期首残高	期 中		期末残高
		増 加	減 少	
肉専用種	539,168,825	787,447,946	1,164,659,358	162,008,756
交 雑 種	1,299,657,507	657,517,673	1,378,175,820	579,179,596
乳 用 種	1,541,541,917	734,851,900	1,156,047,358	1,120,628,506
合 計	3,380,368,249	2,179,817,519	3,698,882,536	1,861,816,858

(2) 緊急支援金返還状況

平成 23 年度において肉用牛肥育生産者に交付した緊急支援金の返還に関する業務を行った。

〔返還実績〕

(単位：戸・千円・%)

区 分	令和 3 年 3 月 31 日	
	戸 数	金 額
交付金額 A	322	9,320,300
全額返還 B	320	9,270,650
一部返還 C	2	23,662
返還額合計 D = B+C	—	9,294,312
回収不能額 E ※	1	24,388
未返還額 A-D-E	1	1,600
返還率 (D+E)/A	99.9	

※ 自己破産した対象者の未返還金残高

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や畜産物の消費拡大を図るため、PR活動を行った。

畜産関係団体調整機能強化事業：地方競馬（中央畜産会/委託 500千円）

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援

2回（帯広市）

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

〔登記・登録件数〕

(単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	76,041	10,911
	前年度対比	105.6	109.7
褐毛和種	件 数	483	97
	前年度対比	80.2	75.8
日本短角種	件 数	115	42
	前年度対比	30.7	53.8
外国種	件 数	53	14
	前年度対比	79.1	38.9

〔登録審査員の養成及び技術向上〕

登録窓口別審査研修及び子牛検査委員資格認定研修会 3回(帯広市他)

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

〔取扱実績〕

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・再生バルククーラー ・新品バルククーラー他	12	75,495	92.8
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設	26	176,777	43.7
畜産環境整備機構	・経営リース ・調査リース	4	53,816	78.5
合 計		42	306,088	55.2

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：機械導入（中央畜産会/補助 35,878 千円）

畜産クラスター計画に基づき、地域の関係者が連携して地域全体の収益力向上を図るため、畜産経営体がコスト削減や収益力向上等に資する機械を導入する事業を行った。

配分件数 91 協議会 補助金額 8,692,714 千円

— 平成 28 年度～令和元年度分 — （中央畜産会/委託 12,363 千円）

畜産クラスター協議会を対象とした機械導入事業の取りまとめなどの支援業務を行った。

(2) 畜産経営体生産性向上対策事業：畜産 I C T（中央畜産会/委託 5,715 千円）

酪農経営や畜産経営の労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入を支援する事業の推進業務を行った。

配分件数 46 会議 補助金額 939,049 千円

(3) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業：楽酪 G O（中央畜産会/委託 6,249 千円）

酪農経営における労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入及びそれと一体的な施設の整備等を支援する事業の推進業務を行った。

配分件数 12 会議 補助金額 626,277 千円

(4) クラスタ全国実態調査事業（中央畜産会/委託 5,000 千円）

畜産クラスターに係る取組みを全国で推進するため、先進的な経営等を対象に経営調査を行った。

調査件数 50 件

(5) クラスタ改善効果事業（中央畜産会/委託 450 千円）

畜産クラスター事業を活用して機械導入及び施設整備を行った経営体を対象に、その効果に関する調査を行った。

調査件数 3 件

(6) 課題解決サポート調査事業（中央畜産会/委託 2,266 千円）

日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。

実施件数 22 件

(7) 軽種馬経営実態調査事業（中央畜産会/委託 1,662 千円）

軽種馬の生産振興に資するため、軽種馬経営における販売産駒 1 頭当たりの生産費用等の調査を行った。

調査件数 10 件

(8) 畜産・酪農生産力強化対策事業：生産性向上対策（中央畜産会/委託 3,330 千円）

家畜の生産力を最大限に発揮させるための家畜生産性に係るデータの収集と生産性向上のためのデータ分析及び技術指導を行った。

酪農 25 件 肉用牛 15 件

(9) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業：肥育生産支援（中央畜産会/委託 9,822 千円）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による畜産農家の経営悪化が懸念されるため、経営体質強化の取組みを図る肥育農家に対し、1頭当たり2万円を交付する事業の推進業務を行った。

奨励金交付状況〔令和2年4月7日～12月31日販売分〕

(単位：頭・千円)

品種区分	対象頭数	交付金額
肉専用種	23,795	475,900
交雑種	36,636	732,720
乳用種	81,336	1,626,720
合計	141,767	2,835,340

(10) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業：計画出荷支援（農畜産業振興機構/補助 5,733 千円）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、食肉卸業者等から出荷自粛要請を受けて計画出荷を行った生産者に対し支援を行った。

交付件数 3 団体 助成金額 4,928 千円

(11) 全国優良畜産経営管理技術発表会（中央畜産会/124 千円）

道内の優良な酪農畜産経営事例を調査し、中央畜産会が主催する発表会に推薦した。

酪農 1 件

(12) 動産担保融資支援事業（日本政策金融公庫・生産者/委託他 9,647 千円）

日本政策金融公庫等金融機関と十勝畜産農業協同組合及び上川家畜商業協同組合と締結した「ABL協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛を担保に運転資金の融資を受けた農家について、飼養牛のモニタリングを行った。

モニタリング 15 件

(13) スマート農業加速化実証プロジェクト事業（農業・食品産業技術研究機構/委託 2,111 千円）

肥育経営への動産担保融資等の導入促進に資するため、生体センシング等のIoTを活用した低コスト個体モニタリング手法の実証を行った。

(14) 草地難防除雑草駆除技術実証事業：R1 補正（日本草地畜産種子協会/委託 7,081 千円）

R2 補正（ // /委託 518 千円）

自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。

事務取扱〔R1 年度補正分〕 55 地区〔R2 年度補正分〕 53 地区

(15) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 2,862 千円）

畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。また、農協等に対し同事業の新規開拓を図るため、普及啓発資料を作成し配布した。

調査指導 27 基

普及啓発資料送付 38 農協等

(16) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 7,744 千円）

酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。

調査地域

9 地域

8 北農ビル管理運営事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

令和2年度 通常総会 — 原案どおり議決 —

令和2年6月25日

〔議 事〕

議案第1号 令和元年度事業報告及び決算報告等について

議案第2号 役員を選任について

議案第3号 令和2年度役員報酬について

議案第4号 令和2年度会費負担額及び納入について

報告事項 令和2年度事業計画及び収支予算について

2 理 事 会 議決事項及び報告事項

〔第1回〕（書面） — 原案どおり議決 —

令和2年6月11日

① 令和元年度事業報告及び決算報告等について

② 令和2年度通常総会の開催及び提出議案について

③ 肉用牛肥育経営安定制度業務規程の一部改正について

④ 役員推薦委員の選任について

報告事項 令和元年度職務執行状況報告について

〔第2回〕 — 互選により選任 —

令和2年6月25日

役付理事の互選について

〔第3回〕（書面） — 原案どおり議決 —

令和2年9月28日

肉用牛肥育経営安定制度業務規程の一部改正について

〔第4回〕（書面）

令和2年11月19日

報告事項 令和2年度事業の実施状況等について〔4月～10月〕

〔第5回〕 — 原案どおり議決 —

令和3年3月17日

① 令和3年度事業計画及び収支予算について

② 肉用牛肥育経営安定制度業務規程の一部改正について

③ 諸規程の一部改正について

報告事項 会員の退会について

3 専門委員会

家畜登録改良事業 和牛登録専門委員会（書面）

令和3年3月26日

- ① （公社）全国和牛登録協会通常総会報告について
- ② （一社）北海道酪農畜産協会登録事業について
- ③ 第13回全国和牛能力共進会北海道大会開催について

家畜登録改良事業 和牛改良専門委員会

令和3年3月18日

- ① 北海道の和牛の現状と方向性
- ② 北海道和牛改良推進目標の考え方
- ③ 北海道推奨種雄牛について
- ④ 全国和牛能力共進会について

4 監 査

〔監事監査〕

令和2年6月2日

令和2年度監事監査（令和元年度決算分）

〔内部監査〕

- | | | |
|-------|----------|----------------|
| ① 第1回 | 総務部 | 令和2年9月16日、17日 |
| ② 第2回 | クラスター推進部 | 令和2年11月26日、27日 |
| ③ 第3回 | 家畜登録改良部 | 令和3年2月25日、26日 |

第4 会員及び役職員数

〔会 員〕

項 目	元年度 期 末	2年度		2年度 期 末
		増	減	
会 員	210	—	4	206
団 体	54	—	—	54
農 協	87	—	4	83
市町村	69	—	—	69

〔役職員〕

項 目	元年度 期 末	2年度		2年度 期 末	摘 要
		増	減		
役 員	12	6	6	12	うち常勤理事1名
理 事	10	5	5	10	
監 事	2	1	1	2	
職 員	41	7	5	43	

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。